



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古里 親
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 牧 清忠

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,016	△13.1	222	△35.6	266	△31.3	173	△28.4
26年3月期第1四半期	5,769	10.0	346	32.3	388	30.3	242	29.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	19.81	—
26年3月期第1四半期	27.66	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	21,890	19,540	89.3	2,225.14
26年3月期	22,593	19,544	86.5	2,225.55

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 19,540百万円 26年3月期 19,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	0.9	640	0.8	700	0.4	430	1.3	48.97
通期	22,500	0.2	1,380	1.5	1,500	2.1	950	4.8	108.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	8,832,311 株	26年3月期	8,832,311 株
27年3月期1Q	50,659 株	26年3月期	50,659 株
27年3月期1Q	8,781,652 株	26年3月期1Q	8,781,798 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う消費の冷え込みが若干ありましたものの、企業収益・雇用・個人所得の改善が見られ景気は概ね回復傾向に推移しましたが、原油価格の上昇や中国経済の減速・タイの政情不安などによるアジア経済の停滞が懸念され、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格とエネルギーコストの上昇など厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第1四半期累計期間の売上高は5,016百万円(前年同期比13.1%減)、営業利益は222百万円(前年同期比35.6%減)、経常利益は266百万円(前年同期比31.3%減)、四半期純利益は173百万円(前年同期比28.4%減)となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、液体スープの売上が減少し、売上高は766百万円(前年同期比21.6%減)、セグメント利益は93百万円(前年同期比40.0%増)となりました。

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸びましたが、機能的食品の受託が低調に推移し、売上高は1,080百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は18百万円(前年同期比37.4%減)となりました。

チルド食品部門は、焼そばの受託は好調でしたが、生ラーメン・ゆで麺等のアイテムが低調に推移したため、売上高は883百万円(前年同期比4.0%減)、セグメント利益は71百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

即席麺部門は、全体的に低調に推移し、売上高は1,818百万円(前年同期比12.0%減)、セグメント利益は35百万円(前年同期比78.7%減)となりました。

その他は、その他商品の取扱が減少し、売上高は467百万円(前年同期比34.3%減)、セグメント利益は4百万円(前年同期比44.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期会計期間末における資産の部は21,890百万円となり、前事業年度末と比べ702百万円減少しました。これは主に、流動資産において売掛金が521百万円、機械及び装置が78百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,350百万円となり、前事業年度と比べ698百万円減少しました。これは主に、買掛金が353百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は19,540百万円となり、前事業年度末と比べ3百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が39百万円減少し、その他有価証券評価差額金が36百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点に置いて変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の変更等をいたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期会計期間の期首の前払年金費用が81百万円減少し、退職給付引当金が23百万円減少し、利益剰余金が37百万円減少しております。また、これらによる損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,902	5,899
売掛金	2,331	1,809
商品及び製品	388	462
仕掛品	23	19
原材料及び貯蔵品	313	264
関係会社短期貸付金	7,000	7,000
その他	137	77
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	16,087	15,524
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,077	2,046
機械及び装置(純額)	1,610	1,531
その他(純額)	989	1,001
有形固定資産合計	4,676	4,579
無形固定資産	41	38
投資その他の資産	1,787	1,748
固定資産合計	6,506	6,366
資産合計	22,593	21,890
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,585	1,232
未払法人税等	239	30
賞与引当金	164	63
役員賞与引当金	16	1
その他	506	523
流動負債合計	2,511	1,850
固定負債		
退職給付引当金	473	442
役員退職慰労引当金	64	57
固定負債合計	537	499
負債合計	3,049	2,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	17,067	17,028
自己株式	△65	△65
株主資本合計	19,323	19,284
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	220	256
評価・換算差額等	220	256
純資産合計	19,544	19,540
負債純資産合計	22,593	21,890

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,769	5,016
売上原価	5,157	4,552
売上総利益	612	464
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	79	64
賞与引当金繰入額	8	8
役員賞与引当金繰入額	5	1
退職給付費用	6	7
役員退職慰労引当金繰入額	2	2
その他	163	156
販売費及び一般管理費合計	266	241
営業利益	346	222
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	25	26
雑収入	8	9
営業外収益合計	44	45
営業外費用		
賃貸費用	1	1
雑支出	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	388	266
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
ゴルフ会員権評価損	—	1
特別損失合計	0	2
税引前四半期純利益	387	264
法人税、住民税及び事業税	115	28
法人税等調整額	29	61
法人税等合計	144	90
四半期純利益	242	173

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	977	1,093	920	2,066	5,057	712	5,769
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	977	1,093	920	2,066	5,057	712	5,769
セグメント利益	67	29	76	165	337	8	346

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	766	1,080	883	1,818	4,548	467	5,016
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	766	1,080	883	1,818	4,548	467	5,016
セグメント利益	93	18	71	35	218	4	222

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。